



高千穂大学 広報誌

Quarterly
クォーターリー

夏号

2013/7 Vol.43

高千穂

特集

高千穂生の夏休み

TAKACHIHO UNIVERSITY

高千穂生の夏休み

皆さん、夏休みといえば何を思い出しますか？ 子供の時のスイカ割り？ 大学でできた友達といった海水浴？ ゼミ合宿でゼミ友達と遊んだ花火？ 夏はいろいろな思い出ができる季節です。大学は夏休みに入り、思い思いの時間を過ごすことができます。今回のクォーターリーでは、この夏休みの時間を使って、夢や目標に向かって頑張る人、頑張った人を特集します。まずは、今年の夏休みにそれぞれの目標に向かって頑張る在学生や団体を取り上げました。そして、次に、昨年度の夏休みに頑張った在学生と団体を取り上げています。夏休みという時間は、それぞれの気持ち次第で楽しくもなり、有意義なものになります。いろんな人の声に耳を傾けながら、自分の夏休みの過ごし方について、一緒に考えてみませんか？



Quarterly
クォーターリー

高千穂

Vol. 43 | 2013/7

Contents

2

特集

高千穂生の夏休み

今年の夏休みにがんばること

昨年の夏休みにがんばったこと

8

Open Campus 2013

オープンキャンパス2013

10

TAKACHIHO Campus Life

学友会コーナー

体育祭、六月祭、小向ゼミ 吉本興業外部講師

12

By Air Mail

海外研修生座談会

海外留学・研修プログラム

キャンパス
レポート

6/16 オープンキャンパス 報告!

過去最高の
来場者
220名!



6月16日(日)、天気は梅雨前線の影響で朝から雨模様、しかし、学生スタッフは元気そのもの。オープンキャンパスの準備も早々に完了させ、最初の参加者を笑顔で迎えることができました。予定していたよりも来場者がとても多かったため、急遽イスを増やしなが、円滑な運営を行いました。なんと来場者は過去最高の220名でした!!!

オープンキャンパスの大学説明は降嶺入試委員長、商学部の模擬授業は成田先生、経営学部の模擬授業は大島先生、人間科学部の模擬授業は染谷先生が担当し、それぞれ力のごもった説明や授業を行いました。在学生(ゼミ生)の応援もあり、来場者は在学生と触れ合いながら各プログラムに参加でき、高千穂のアットホームな雰囲気を感じていただけたと思います。

他には個別相談、入試説明、キャンパスツアー、学食体験と盛りだくさんの内容でした。お足元の悪い中、ご参加いただきましてありがとうございました。次のオープンキャンパスは7月28日(日)。皆様のご来場をお待ちしています! (今号8-9ページに、これからのオープンキャンパスの予定を紹介しています。ご参照ください。)

15

New Books & Review

書籍紹介

16

A Summary of Budget & Financial Statements

平成25年度 予算の概要
平成24年度 決算の概要

20

TAKACHIHO Alumni / Parent's Association

同窓会
父母の会

22

Campus News

キャンパスニュース
総合科目B
編集後記

《23 ページ右下写真の皆さん》

前列左から

山下 莉佳 商学部 1 年
斉藤 帆南 経営学部 1 年
川口 彩乃 経営学部 1 年
吉田 理紗 人間科学部 3 年
加藤 純の 人間科学部 3 年
長屋 美咲 経営学部 2 年
柴田 莉沙 経営学部 3 年

柴田ゼミ ダンス愛好会 (東京都立富士森高等学校出身)
河合ゼミ ダンス愛好会 (埼玉県私立埼玉平成高等学校出身)
河合ゼミ ダンス愛好会 (埼玉県私立埼玉平成高等学校出身)
吉原ゼミ ゼミナール連合本部 (神奈川県立菅高等学校出身)
吉原ゼミ (東京都立田園調布高等学校出身)
小林ゼミ (東京都立八王子実践高等学校出身)
小林ゼミ 高千穂実行委員会 (東京都立美原高等学校出身)

後列左から

土淵 優大 経営学部 1 年
柏倉 裕樹 経営学部 1 年
小出 孝也 経営学部 1 年
齊藤 優伊 経営学部 1 年
田淵 千貴 経営学部 1 年
鳴海 友介 経営学部 3 年
飯島雄太郎 経営学部 2 年

降旗ゼミ アメリカンフットボール部 (東京都立目黒学院高等学校出身)
木村ゼミ ダンス愛好会 (東京都立堀越高等学校出身)
藤田ゼミ ダンス愛好会 (東京都立京北学園白山高等学校出身)
藤芳ゼミ ダンス愛好会 (千葉県立中央学院高等学校出身)
小林ゼミ ダンス愛好会 (東京都立目黒学院高等学校出身)
小林ゼミ (東京都立広尾学園高等学校出身)
小林ゼミ (東京都立八王子実践高等学校出身)

今年の夏休みに がんばること

今年の夏の目標は決まりましたか？

夏休み中に部活・研究会、資格取得、ゼミナール活動に頑張る在學生と団体を取り上げます。目標に向かって集中し、沢山の時間を費やし、勉強や練習を積み重ねていくことで、経験や技術を磨くことができます。さらには、最終的な目標を達成することができれば、自分自身を大きく成長させることに繋がります。目標を達成する喜びや嬉しさを自分、そして他人と共に分かち合うことを想像しながら、在学中に一心不乱に頑張ってみてはいかがでしょうか？

この夏、絶対に妥協しない理由

今井 龍之介

経営学部 2 年（東京都私立大成高等学校出身）

アメリカンフットボール部 副将 舟木ゼミ

私が夏休みに頑張ることは、“体を大きくすること”と“レシーバーリーダーとして技術の向上”です！

今は体重 90kg を目指してたくさんご飯を食べて、当たり前負けないウェイトを身につけたいと思っています。また、私はボールをキャッチするポジションですが、



レベルアップを目指して練習に励みたいと思っています。

なぜ、この夏に頑張るかというと、秋にリーグ戦があるからです。今まで2度のリーグ戦を経験しましたが、思うように活躍できませんでした。だからこそ今年は大きく活躍したいと思っています！この“活躍したい”という気持ちは、必ずチームの勝利に繋がっていくと思うので、自信を持ってプレーをしたいと思っています。



私が日々頑張れるのは、他のプレイヤー、マネージャー、コーチ、スタッフ、OB・OG、家族全員のお蔭だと思っています。いつも感謝しています！みんなへの感謝の気持ちを、プレーで返すために、私はこの夏絶対に妥協せずに頑張ります！
facebook.com/takachihoeagles



コミックマーケットへの出展と夏合宿の成功

鷲ノ上 敏輝

経営学部 3 年（東京都立神代高等学校出身）

漫画研究会 部長

際に会場で売り子として部誌を一般参加者に声をかけながら販売し、他大学サークルとの交流や、他大学の部誌などを今後の活動の参考にし、自分たちの作品の糧としたいと思います。

2つ目は夏合宿です。

コミックマーケットでの打ち上げもかねて今年は海に行きます。

毎年この合宿により各学年の絆を深めています。

1年生とはこの合宿で更に仲良くなりたいと計画しています！！

私はこの夏2つのことに挑戦します。

1つ目は夏休み中、コミックマーケットに部誌を発行します。

これは漫画研究会の一番のイベントです。「読んで楽しい部誌を作る」をモットーに部員一人ひとりがこのイベントに向けてイラストや漫画、小説、作品のレビューなど全力で作成しました。

コミックマーケット当日は部員数人が実

秋以降は高千穂祭、そして冬のコミックマーケットへの参加が大きなイベントです。

高千穂祭ではイラスト展示をがんばりたいと思っていますので、夏休みから製作に取り掛かりたいと思っています。それと模擬店でも楽しく全力を尽くせたい、と思います。

冬のコミックマーケットでも夏に負けないくらい全力で取り組みたいと思います！！



夏のゼミ合宿で感じたこと

田川 あん

経営学部 3 年（神奈川県立上溝南高等学校出身）

小林ゼミ長

小林ゼミは「やる時は真剣にやる、遊ぶ時は全力で遊ぶ!」というメリハリのあるゼミです。そんな中でゼミ長という重役を任せてもらい、今こうやって私がゼミ長をやっているのは、先生や周りのゼミ生が常に支えてくれるからです。昨年の夏休み、私は2年生の時、小林ゼミの合宿に参



加し、ゼミ発表会に向けて一晩中徹夜で話し合い、パソコンと向き合い、先輩や先生にアドバイスをもらいながら、準備をしたことを思い出します。ここでは周囲との協働作業を通して、様々なことを勉強することができました。また、小林先生からもアドバイスを貰い、研究や発表の準備を進めることができました。小林ゼミでは毎年2年生がゼミ発表会の準備と発表を行います。昨年私たちがゼミ発表を通して



感じたこと・学んだことを、今度は今の2年生に伝え、そしてゼミ長としてみんなを支えていきたいと思っています。また、空いている時間で、全力で遊びたいと思います。

日商簿記 1 級の取得を目指して

佐藤 朱

商学部 4 年（福島県立福島商業高等学校出身）

西山ゼミ

検定試験では合格したいと思っています。そこで、今年の夏休みは学生生活最後の夏休みとなりますが、1級取得に向けて勉強を頑張りたいと考えています。春学期は、就職活動や教育実習などで落ち着いて勉強をする時間がなかったため、この夏休みを利用して11月の検定試験に向けて準備していきたいと思っています。

将来は、取得した資格や勉強してき

たことが生かせる仕事をしたいと考えています。1級取得後も興味のある資格や学びたいことがあるので、今後も挑戦していきたいと思っています。そして、今まで勉強してきた資格の知識や経験を社会に出て役立てたいと思います。



私は大学1年生の時から、在学中に日商簿記検定1級を取得することを目標としています。大学2年生の時に2級を取得することができたので、大学3年生の時から専門学校に通い、1級の勉強をしてきました。まだ資格は取得できていませんが、今年の11月の



企業実地研修で事業承継に必要な経営学を学ぶ

飯田 知樹

経営学部 2 年（東京都立園芸高等学校出身）

川名ゼミ

私は起業・事業承継コースOBの三森さんの特別講座を受講し、学生時代、卒業後、事業承継しているみやげもの業界などの話を伺いました。私もいずれは後継者を目指しているため、本当にこのコースを選



択して間違いではなかったと確信しました。これから経営について勉強を頑張っていこ

うと感じました。

起業・事業承継コースでは、毎年夏休みに特別プログラムを行っています。今年は会計特別講座（事業承継に関する税務について）、親子で学ぶ事業承継講座（8/25オープンキャンパスにて開催）、家業レポート（10月に発表）、企業実地研修（8/9エコアール社（足利市））、企業経営実習（仙台市）、企業実地研修（8/6-7自動車リサイクル関連企業（宮城県）、気仙沼の復興商店街（気仙沼



市))を予定しています。夏休みは企業実地研修から沢山のことを学び、将来家業を大きくしていきたいと思っています。

企業事業承継コースのフェイスブックもぜひご覧ください。

facebook.com/takachihokiji

今年の夏休みにがんばったこと



私たち和弓部が昨夏に努力した事は、体力増加と基礎能力向上です。和弓部は年に約3回の合宿があります。そのうち最もハードな練習が夏の合宿です。日数は3日間。朝の9時から夜6時まで練習を行いました。夏の合宿で特に力を入れた事は集中力向上と体力強化です。リーグ戦は長丁場な為、いかに上手く集中できるか、そして、それを維持

東京都学生弓道連盟4部優勝&3部昇格

兼城 和香

商学部4年（東京都立第一商業高等学校出身）

渡辺ゼミ

する為の体力があるかが鍵になります。1日目の練習は100射会です。基本的に、1日に正規練習で引く本数は約20から30本です。その何倍もの数を1日かけて引き、体力強化をはかります。2日目の練習は基礎練習と集中力向上です。当時先輩だった現監督の指導の下、基礎を見直す事で実力の底上げをはかりました。そして、集中力向上の為に普段より小さな的を使います。あたりづら

い為、集中しなければいけません。そして3日目は、合宿での成果を目に見える形で出す為に他校との練習試合を行いました。緊張状態でも普段通りに出来るかが重要です。このように非常に濃い練習をこなしてきました。夏合宿で作った土台の上に日々の練習を積み重ねていき、リーグ戦につなげる事が出来ました。



海外研修中国語 東呉大学参加

永田 絵雅

商学部3年（東京都私立東京家政学院高等学校出身）

西山ゼミ

私がこの研修に参加した一番のきっかけは、テレビでの台湾特集を見たからです。それまでは全く留学とかには興味はなかったのですが、その特集を見たときに「台湾にはこんな美味しそうな物があるのか!」と、食欲むき



出しのままテレビを見ていました。そして、中国語を履修していた私は、中国語を実際に使ってみたいとも思っていたので、両親の支援もあり、参加するに至りました。参加して良かったと思うのは、海外の友達ができたり、海外の文化に直に触れることができたことです。今まで海外旅行は幾度か行ったことはあったのですが、ほぼ親の力を借りて買い物を



したり、楽しんでいました。しかし、この研修では同じ大学の方はいませんが、基本的には自分自身で考え、行動しなければなりません。そして自身で成し遂げることを学んだことが、最も成長できた点だと思います。



私たちが研究をしていく上で苦労したこととは、自分達の案をどこまで掘り下げられるかということです。今年の夏休み中は班員全員がアルバイトも休み、週5日大学に集まって研究を進めていました。そして、オリジナルの調査集めにも力を入れ、調べても分からないことは実際に聞き取り調査や、公園などでアンケート調査も行いま

ゼミ発表会プレゼンコンテスト金賞

大橋 茜

経営学部4年（新潟県立長岡商業高等学校出身）

松崎ゼミ

した。しかし、いくら研究に力を入れたとしても聴講者がプレゼンとして見たときに何が言いたいのかよくわからないものになってしまうのは意味がありません。つまり、いかに聴講者が退屈にならずに耳を傾けてくれるプレゼンにするかという点もポイントになります。私たちは、パワーポイントには絵や図を多用したり、原稿なしの会話形式のプレゼン、アドリブを入れたりして聴講者を飽きさせない工夫をしました。ま

た、発表の前日に先輩から「もっと訴えかけるプレゼンにした方がいい」とアドバイスを頂いたことで、大幅に原稿を変更し、夜遅くまで残って練習をしました。今年の準備や発表を通して、何事にも最後まで「もういいや」とならず、やりきる事の大切さを学びました。

（左上写真：左から2人が金賞を受賞した松崎ゼミ）



今年の夏休み、これから頑張る学生達がいるように、昨年の夏休みに頑張った学生達もたくさんいました。一所懸命考え、行動し、中には目標を見事に達成したり、成果を得た学生もいます。そんな成功体験を持つ学生達の経験談を聞いてみましょう。さらには夏休みのような長期休みだからこそできる海外旅行。その魅力をよく知る学生から思い出の話を聞いてみました。

夏休みの海外旅行のススメ

山科 詩織 経営学部 4 年 (東京都私立立志舎高等学校出身)
舟木ゼミ

私は幼いころ両親に連れられ、ハワイの親戚の家に遊びに行ったことが初めての海外経験でした。それから高校、大学と自分で行動できるようになってからは海外の魅力にはまってしまい、長期休みは必ずと言っていいほど海外旅行を楽しん

でいます。美味しい食べ物やお土産だけでなく、異文化に触れる魅力、言葉以外で意思疎通できた時の喜びなども感じ、さらには日本の良さを再確認することもありました。それでは私の大学時代の海外での思い出を紹介します。



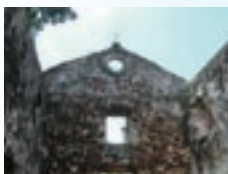
マレーシア (大学 1 年 春)



ここでの一番のインパクトはニョニャ料理という食べ物です。最初、見た目は悪いと思ったのですが、すごくおいしくてビックリしました！海外の料理は見た目では判断できないと感じました(笑)世界遺産のマラッカはレンガ作りのきれいな街並みが残されていました。



世界遺産マラッカ



ロンドン (大学 2 年 冬)

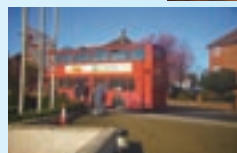


大英博物館

ロンドンでは古着屋巡りが楽しかったです。古着なので価格もリーズナブルなこともあり 10 着くらい買ってしまいました。旅行でハイテンションになっていたのか真っ赤なつなぎを買ってしまい、日本に帰ってきてから、まだ着れていません…。大英博物館では特にエジプトのミイラなどが印象的でした。



エジプトのミイラの棺



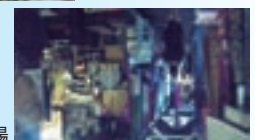
ロンドンの街並み

タイ (大学 3 年 夏)

タイは雨季に行ったため、ほぼ毎日雨でした。移動はほとんどがトゥクトゥクというタクシーみたいな乗り物がポピュラーで、私もたくさん乗ってきました。市場では色とりどりの絨毯やバイクなどがたくさん並んでいて何でも売っているみたいでした。エメラルド宮殿では金色



トゥクトゥク



タイの市場



エメラルド宮殿にて

●夏休みの過ごし方とは ...

今まで見てきたように、在学中に資格取得の目標を達成するために、勉強を頑張った人。団体スポーツで結果を残すために、みんなで団結して猛練習した人。ゼミ活動でゼミ発表会やインナー大会参加に向けて研究活動を頑張ったゼミがありました。ここに紹介した例はほんの

一部です。多くの学生や団体は、夢や目標に向けて挑戦し続けています。少しでも皆さんの夏休みの過ごし方の参考にしてもらえると嬉しいです。あなたは今年の夏、どのような夏休みにしますか？アルバイト？資格取得？短期留学？スポーツ？ゼミ活動？頑張った分だけ、自分に戻ってきます。ぜひ、将来、なりたい自分に近づくために色々なことに向かって挑戦してみましょう！

オープンキャンパス 2013

受験生の皆さん、とても大変だった期末テストも終わり、いよいよ高校最後の夏休みに突入ですね。この夏休み、なんといっても自分の進路に向けて動き出さなきゃいけない時期だと思います。どんな大学が自分に合っているのか、どの学部で学びたいのか、就職はできるのか、奨学金は貰えるのかなど自分が希望するものから志望校を絞り込まなくてははいけません。この時に役に立つのはやはりオープンキャンパスです。高千穂大学もオープンキャンパスを開催し、様々なプログラムを用意しています。皆さんの学部・大学選びに役に立つものばかりですので、ぜひお友達・ご家族と一緒に参加してみてくださいね★



安藤 穂香さん
商学部 1 年 中元ゼミ
(埼玉県立伊奈学園総合高等学校出身)

ワタシたちが
みどころを
ご紹介します

7/28(日)

入試説明



★みどころ

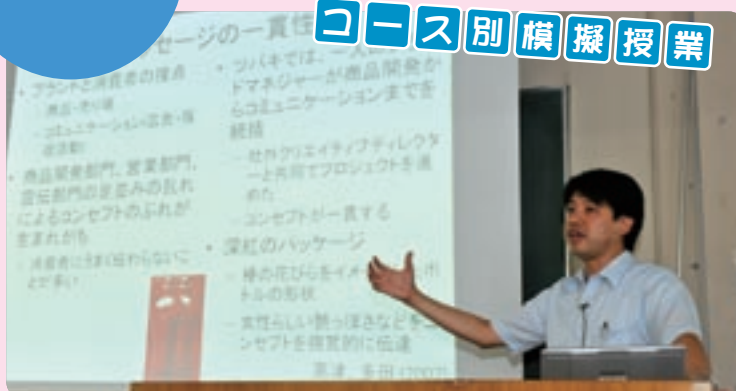
見どころは入試説明です。AO1 回目への出願を希望する場合、このプログラムに参加しましょう！AO 入試の説明や対策などが分かります。勿論、願書の書き方なども個別相談で聞けます！AO 入試 1 回目への出願は 8 月 5 日から開始！この日のオープンキャンパスから、出願の準備を始めましょう！

時 間	内 容
11:00-11:10	オープニング・学長挨拶
11:10-11:50	大学・学部説明
12:00-12:40	模擬授業(商) 担当: 嘉瀬先生
12:50-13:20	Enjoy Campus Life 学生スタッフ
12:50-13:20	父母対象説明
13:30-14:10	模擬授業(経) 担当: 松崎先生
13:30-14:10	模擬授業(人) 担当: 小向先生
14:20-15:00	入試説明 ★
11:30-15:00	個別相談
	在学生相談
	キャンパスツアー
	学食体験

時 間	内 容
11:00-11:10	オープニング・学長挨拶
11:10-11:50	大学・学部説明
12:00-12:40	模擬授業(商) ★ 担当: (会) 西山先生 担当: (マ) 庄司先生 担当: (金) 柴田先生
12:50-13:20	Enjoy Campus Life
12:50-13:20	父母対象説明
13:30-14:10	模擬授業(経) ★ 担当: (企) 竹内先生 担当: (経) 森平先生 担当: (起) 大島先生
13:30-14:10	模擬授業(人) ★ 「出会い」から始まる人間理解 担当: (人) 齋藤(元) 合同 担当: (児) 岡田(有)
14:20-15:00	入試説明
11:30-15:00	個別相談
	在学生相談
	キャンパスツアー
	学食体験

8/11(日)

コース別模擬授業



★みどころ

見どころはコース別模擬授業です。3 学部 8 専攻・コースの全てで模擬授業を行います。大学の授業が実際に体験できるのと、同じ学部でも学びの違いを理解することができます。商学部は 3 コース。経営学部でも 3 コース、人間科学部では人間科学専攻と児童教育専攻が合同で特別授業を行います。学部選びの参考になること間違いなしです。

オープンキャンパス 2013

8/24(土)

時 間	内 容
14:00-14:10	オープニング・学長挨拶
14:10-14:50	大学・学部説明
15:00-15:40	模擬授業(人) 担当:(人)岡田(泰)先生 担当:(児)徳田先生
15:50-16:20	Enjoy Campus Life
15:50-16:20	父母対象説明
16:30-17:10	模擬授業(商) 担当:(会)石井先生 担当:(金)恩蔵先生 ★ 担当:(マ)菌部先生 担当:(起)川名先生 合同 模擬授業(経) 担当:(企・経)小林先生
17:20-18:00	入試説明
18:30-18:00	個別相談 在学生相談 キャンパスツアー 学食体験

商学部 + 経営学部
模擬授業

★みどころ

見どころは商学部と経営学部の夢のコラボレーションである特別授業です。商学と経営学で迷っている受験生は意外と多いですね。そんな悩んでいるあなたにオススメなのが、このコラボ模擬授業です。ヒット商品の企画と売り方についてというテーマで、商学部と経営学部の学びの視点や考え方といった違いを比較しながら理解することができます。



高家 絵里香さん
商学部 1年 中元ゼミ
(東京都立晴海総合高等学校出身)

8/25(日)



個別相談

★みどころ

夏休みが終了する週末に行われるオープンキャンパス。見どころは、模擬授業と個別相談です。模擬授業では経営学部の「起業・事業承継コースで4年間何が学べるか」。来場者とその保護者が一緒に参加できる内容となっています。また、在学生もサプライズで応援にきますので、教員、在学生、そして来場者が楽しみながら学べる内容となっています。また、個別相談では、AO第2回に向けた入試相談、秋の指定校入試に向けた相談もできますよ。

時 間	内 容
11:00-11:10	オープニング・学長挨拶
11:10-11:50	大学・学部説明
12:00-12:40	模擬授業(商) ★ 担当:(会)小泉先生 担当:(マ)佐野先生 担当:(金)楠美先生
12:50-13:20	Enjoy Campus Life
12:50-13:20	父母対象説明
13:30-14:10	模擬授業(経) ★ 担当:(企・経)五野井先生 担当:(起)川名先生 模擬授業(人) ★ 担当:(人)木村先生 担当:(児)長谷川先生
14:20-15:00	入試説明
15:30-15:00	個別相談 ★ 在学生相談 キャンパスツアー 学食体験

学生スタッフから
ひとこと

今回、初めてオープンキャンパスの司会を担当しました。小学校の教員を目指しているので、ゼミナールやボランティア活動を通じて、人前で話すことには慣れているつもりでしたが、200人もの前では緊張してしまい、上手く話すことができませんでした。オープンキャンパスは大学を知りたい機会です。大学を見て聞くだけでなく、私たち学生スタッフ、教職員とたくさん話しましょう。パンフレットでは分からない高千穂の良さを感じてもらえると思います。これからも頑張りますので、皆さんお越しください。

鈴木 明日香さん オープンキャンパス学生スタッフリーダー
人間科学部 3年 長谷川ゼミ (東京都私立貞静学園高等学校出身)



体 育 祭

第44回体育祭は平成25年6月1日高千穂大学登戸総合グラウンドで開催しました。当日は天気にも恵まれて体育祭日和でした。体育祭当日は天気が良かったため、熱中症などの心配もされましたがケガ人や病人もなく無事に終えることができました。体育祭には体育会のクラブを始め、一般学生や教職員の方を含め300人を超える多くの方々に参加していただきました。今年度は体育祭実行委員会を立ち上げて各クラブの学生に体育祭の運営を手伝ってもらいました。その結果運営はスムーズに行えました。今年度の総合結果は3位バドミントン部、2位バスケットボール部、1位硬式野球部という結果でした。硬式野

球部は体育祭三連覇を達成しました。今年度の種目は100m・障害物競走・綱引き・玉入れ・しっぽ取り・騎馬戦・代表者リレーの7種目の他に午前種目の最後に学生チーム対教職員・同窓会チームでエキシビションの綱引きを行い、教職員・同窓会チームが勝利しました。参加学生に昼食をご提供いた

いた本学同窓会にお礼申し上げます。

(体育祭実行委員長 橋本 幸太
商学部2年 蘭部ゼミ フットサル愛好会(東京都立足立高等学校出身))



六月祭

今年より新たに天文愛好会、ダンス愛好会、サイクリング愛好会の3団体が六月祭に参加し、昨年度より活気のあるものになりました。また、審査基準を改定し、より公平な審査を行うことができました。今年の順位は総合優勝が美術部、ニューカレッジコンテスト1位が美術部、芸術祭1位がサイクリング愛好会、音楽祭1位が軽音楽研究会という結果になりました。(六月祭実行委員長 植木 洋介 経営学部3年 竹内ゼミ 軽音楽研究会(東京都私立東京農業大学第一高等学校出身))



小向ゼミ 吉本興業外部講師



楽しいから笑う。この必然の笑いを超えて、辛い・苦しい時にユーモアの力で、自分と自分の大切な人のために道を拓く人。世の中が面白い、のではなく退屈な現状の中に楽しさを見出す、面白い能力の達人。私たちのゼミでは「笑い学」を学ぶというより「笑い学」をツールとする、人間力学の修得を目標としています。

また“誰かのために自身が笑われ者になる勇気”を体現すべく、参加して頂ける学生や教職員の皆さんに「笑い」を届けられる合同講座を年に一度、企画しています。今年はゲスト講師として(株)よしもとクリエイティブエージェンシーの大森崇行氏・広瀬郁哉氏、所属芸人の西村ヒロチョさん、フレミングさん、TEAM近藤さん、感動ピストさんに来学して頂きました。

打合わせ時のゲストの方々我真摯な姿勢、翻って本番に発揮する瞬発力など、間近に交流させて頂いたことが、私たちにとって大きな経験になりました。そして参加して下さいった皆さん、どうもありがとうございました!(人間科学部 教授 小向 敦子)





海外研修生座談会

2013年5月28日、1年間の海外留学から帰国した経営学部4年の富沢正男さんを囲んで、昨年、一昨年に海外研修に参加した仲間たちと共に大学近隣の中華料理店で座談会を行いました。大学の留学制度のみならず私費留学をした経験を持つ学生からも様々な経験談が語られました。

《座談会参加者》

富沢 正男 経営学部4年 東京都立高島高等学校出身	2011年度IBCS(オレゴン大学) 研修 2012年度フィッシャー大学(ボストン) 留学
森永 浩隆 経営学部4年 大阪府私立八洲学園高等学校出身	2011年度IBCS(オレゴン大学) 研修 2012年度シアトル 留学(私費)(1年)
宮崎 雅子 商学部4年 東京都立東高等学校出身	2011年度IBCS(オレゴン大学) 研修
矢部 博之 経営学部4年 東京都立杉並高等学校出身	2009年度カナダ 留学(私費)(半年) 2012年度IBCS(オレゴン大学) 研修
山本 亘 人間科学部3年 東京都立六郷工科高等学校出身	2012年度IBCS(オレゴン大学) 研修

進行：海外研修・IBCS委員長 佐藤 孝一 教授

佐藤教授 アメリカの授業の魅力と日本との教え方の違いについて感じたことを話して下さい。

富沢 フィッシャー大学は高千穂大学のように小規模な大学で少人数クラスでしたが、先生の提案、質問について学生が発言したりする所は日本と違っていました。

矢部 私が留学したのはオレゴン大学とカナダですが、社会問題意識を持っている学生が日本と相対的に多いという感じはしました。自分の社会のことだから将来に向かって考えてディスカッションをしようという主体性を感



富沢さん

じました。

佐藤教授 授業以外のキャンパス生活はどうでしたか。

富沢 平日はほとんど図書館で勉強がメインでした。

宮崎 授業以外では、コーヒーアワーやAEI(オレゴン大学の語学学校)の語学学生のためのイベントがあり、そういうものに参加すると会ったことのない人とも交流ができます。土日はパーティーなどに参加することにより、短期留学生だけでなくレギュラーステュデントとの出会いもあって、キャンパスで会っても話すようになりました。

矢部 オレゴンでは車社会なので、移動には車が必要で、私たちのような短期の留学生は車を持っている友達を見つけると遠出の外出は難しいです。パーティーやコーヒーアワーに積極的に参加してその中で友達を増やすとよいと思います。

佐藤教授 留学したことによって何が変わったか教えて下さい。

富沢 目標に近づくことができました。語学力だけでなく、判断力、決断力といった内面の部分で変わりました。

宮崎 以前より自己主張が強くなりました。自分から言っていけないとどん



宮崎さん



森永さん

海外研修・IBCS委員長 佐藤 孝一

本学園は今年創立110年を迎えると同時に、海外研修30周年の記念の年でもあります。

30年間にアメリカ、台湾に派遣した学生は約600名になります。この数字は「平和的国際人」の指針を汲み、外国の言語や文化に触れ、他の国々からの留学生との交流を通して人間的に成長し、

立派な社会人として活躍を願う大学の親心と言えらると思います。留学経験は人生観、価値観を、強いては運命を変える大きなエネルギーを有しています。今の自分を捨てて、新しい未来に翔ぶが如く、グローバルな視野に立った国際的人格者となる機会を見逃さないで下さい。「道の為に来れ」。





山本さん

どん飲み込まれてしまいますから。

矢部 海外と日本の生活の両方を経験できたことでその分振幅が大きくなりました。

山本 授業への取り組み方が変わりました。

佐藤教授 滞在中嬉しかったことや困ったことを話してください。

森永 嬉しかったのは州の大きなカードゲームの大会に出て知り合った人たちと交流できたことです。友達が日本の勉強をしていて、興味を持ってもらいました。50-60代の方や、人種年代関係なく交流できたことが嬉しかったです。

宮崎 前は英語が話せていなかったのに少し経っていくうちにどんどん話せてきて発音を褒められたことや、留学生同士でその国の政治の話をしたりという、当初なら話せなかったことも話せるようになったのは嬉しかったです。

矢部 まずはコミュニケーションがとれること自体で嬉しさを感じました。言葉という面で考えると、アメリカでは政治の話をするにも簡単な言葉が使われていて、言葉というのは簡単にシンプルに使えばいいんだということがわかったことです。

山本 元の言葉は違うのに授業中に



矢部さん

色々な国の人と英語で意見を言い合って答えを導くということができ、それは英語が話せたからできたということが嬉しかったです。

佐藤教授 これから留学を考えている後輩へのアドバイスをお願いします

森永 自分の好きなことを海外で主張することです。

富沢 2ヶ月や9ヶ月などという限られた時間で留学するなら、夢や目標が具体的に、明確にあるとそれに向かって努力ができると思います。

宮崎 知らない人でも友達だと思って接した方がよいです。

矢部 躊躇や遠慮は捨てて、やりたいと思うことを素直に行動することです。

山本 積極性と、あと目標を作って達成をしてみることです。

佐藤教授 みなさん、たくさんの経験談をありがとうございました。

(文中敬称略)

海外研修30周年記念行事を開催します。

平成25年12月14日(土)に高千穂大学内において海外研修30周年記念行事を行います。海外研修生のOB・OGを始め海外研修に携わった歴代の教職員をお招きし、現役の海外研修生や学園関係者と共に、この30年を振り返ったビデオ上映やスライドショー、OBからの近況報告会なども交えての懇親

会を予定しています。当日は英語のスピーチコンテストと本年度の海外研修生報告会も開催します。卒業生、在学生にとって旧交を温める場としてだけでなく、将来も継続的につながっていける会としたいと思います。

海外留学・研修先

創立 1954 年。17 学部・10 学科・大学院がある総合大学。4 万人の学生が学んでいます。上海師範大学は教育養成の歴史が長く、また、留学生に対する中国語教育の長い経験があり、毎年 2000 名余りの留学生が世界から集い学んでいます。「徐匯」キャンパスは上海市の中心部「徐匯」にあり、交通の便がよく、キャンパスも自然豊かです。また、学校の教育設備も完備され、住環境も整っています。

上海師範大学
(上海市)



海外研修

創立 1876 年。自然科学、生物学、数学、コンピュータサイエンス、社会学、人文学、建築工学、経営学、教育学、法学、ジャーナリズム、音楽など幅広い分野で学ぶ総合大学。約 2 万人の学生が学んでいます。人口 15 万人のユージーンは、夏は温暖で乾燥しています。冬は雨が多く、雪が降っても積雪を見ることは稀です。春・秋はおだやかな気候です。全米でも特に環境にやさしい「エコ」な町として雑誌で紹介されています。

オレゴン大学
(オレゴン州)



IBCS

創立 1903 年。ファッション・医療・観光・人事・マーケティングの 5 分野で経営学の学位が取れる 4 年間コースならびに教養課程を中心とした昼間部門と、資格取得を目的とする生涯教育部門があります。約 500 人の昼間部学生、約 3,000 人の生涯教育部の学生が学んでいます。ポストンのバックベイ地区にあり、富裕層の居住地として、またショッピングエリアとして知られています。

フィッシャー大学
(マサチューセッツ州)



海外留学

創立 1900 年。文学部・理学院・外語学院・法学院・商学院の 5 学院 22 系の総合大学。1 万 3 千人の学生が学んでいます。キリスト教メソジスト派により創立され、当時の所在地であった蘇州の別名「東呉」が大学の名前として残っています。台湾最大の都市台北の北部、士林区にあります。緑の山々と小川に囲まれたキャンパスで、近くには世界四大博物館の一つといわれる国立故宫博物院があります。

東呉大学
(台北市)



海外研修

創立 1913 年。芸術、生物、経営、初等教育、英語、運動、看護、心理、野生生物などの学部などの総合大学。約 7,600 人の学生が学んでいます。自然環境に恵まれていることもあり、自然科学分野の研究講座が多く、野外研究や実地調査などを重んじています。カリフォルニア州北部の人口 1 万 7 千人ほどの小さな海沿いの町アルケータにあります。巨木で知られるレッドウッド国立公園(Redwood National Park)が近くにありま

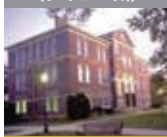
ハンボルト大学
(カリフォルニア州)



海外留学

創立 1819 年。少人数制教育を主眼に置くリベラルアーツ(教養学部系)の大学。約 1200 名の学生が学んでいます。アメリカの大学の中で最も歴史ある大学の一つです。テネシー州第 3 の都市ノックスビル(Knoxville 人口 25 万人)とアパラチア山脈南端に位置するグレート・スモキー・マウンテン(Great Smoky Mountains)国立公園のちょうど中間点にある人口 2 万 7 千人のメリヴィル市にあります。

メリヴィル大学
(テネシー州)



海外留学

高千穂大学の留学プログラム

IBCS

3 か月間のアメリカ研修を含む 1 年間のプログラム

国際ビジネス・パーソン育成に重点を置いた特別留学プログラム

IBCSとは、International Business Communication Seminar(国際ビジネスコミュニケーションセミナー)の略で、語学力・コミュニケーション能力の向上とビジネス専門知識の習得を目的とするプログラム。本学の授業科目をアメリカ・オレゴン

ン大学で現地の教員が講義します。英語研修とともに米国経済やビジネス事情を学び、また現地で活躍する日本企業の見学もあります。

IBCS で磨く
スキル

プレゼンテーション能力

語学力

専門知識(学部教育)

異文化理解

プログラムの
流れ

国内事前研修

高千穂大学で英語能力と
プレゼンテーション能力
を養成。

オレゴン大学での
海外研修(3 か月)

語学やビジネス関係科目
を履修。

国内事後研修

帰国後、報告書を作成。
プレゼンテーション大会
の準備を進める。

IBCS
プレゼンテーション

1 年間の学びの集大成を
発表。

海外研修

中国もしくは台湾での研修：3 週間

夏季休業を利用し、約 3 週間、中国・上海師範大学もしくは台湾・東呉大学で学びます。いずれも都市にある名門大学。世界中から集う留学生とともに生きた中国を習得できます。参加する学生向けに、事前に中国語講座を実施するので初学

者でも安心です。なお現地での授業料、チューター費用、課外活動費、事務手数料などは「海外研修奨学金」として大学が負担します。

海外留学

米国での留学：1 年間

語学力や異文化への理解力を高めるのが高千穂の海外留学。留学先は、いずれも治安、授業内容などから厳選した信頼できる大学ばかり。事前研修や奨学金などのバックアップ

もあります。留学や研修先で取得した単位を高千穂大学の単位に振り替えることが可能で 4 年間で卒業することができます。

今、学生に読んでほしい本！



恩蔵 三穂 教授(商学部)より紹介

『イノベーション・オブ・ライフ』

クレイトン・M・クリステンセン、ジェームズ・アルワース、カレン・ディロン 著
[翔泳社・1,800円(税抜)](2012年 発売)

『イノベーションのジレンマ』という言葉をご存知でしょうか。ハーバード・ビジネススクールの看板教授の一人、クレイトン・クリステンセンが著した書籍のタイトルです。優良企業におけるイノベーションの落とし穴や問題点を説明し、多くの経営者に影響を与え、ビジネス書のベストセラーにもなりました。その本の著者が、最高の人生を生き抜くためにまとめたのが本書『イノベーション・オブ・ライフ』です。子育て、キャリアプラン、人間関係などに経営理論をあてはめて論じています。ビジネスにおける理論は、企業の問題だけではなく、私生活の様々な問題にも光明や洞察を与えてくれるのです。クリステンセン教授は、学期末の講義において、どうすれば幸せで充実した生活を送れるのかを学生たちと語り合うそうです。本書はその講義をもとにまとめ上げられています。これから社会に出て活躍する学生の皆さんはもちろん、人生をより豊かなものにしたいと考えるご父母の皆様に、是非、読んでほしい一冊です。



岡田 泰介 准教授(人間科学部)より紹介

『東地中海世界のなかの古代ギリシア』

岡田 泰介 著 [山川出版社・765円(税抜)](2008年 発売)



手前味噌ですが、授業でも使っている自分の本を紹介します。古代ギリシア文明は、ヨーロッパでは長いあいだ、西洋文明の源流として特別視されてきました。しかし、近年、考古学、言語学、神話学などの分野で研究が進んだ結果、ギリシア文明が、これまで考えられていた以上にメソポタミア、シリア、エジプトといった、ギリシアからみて東方に位置する西アジア諸文明の影響を強く受けていたことがわかってきたのです。この本では、古代ギリシアの歴史のなかで前8〜7世紀に焦点をあわせ、美術、建築、神話、文学などの分野で、東方からギリシアへ打ち寄せてきた文明の波を跡づけることをつうじて、当時のギリシア人が西アジア文明を吸収・咀嚼しながら自己形成を遂げ、独自の文明を生み出していくさまを描き出しています。文明の誕生ということを考えるうえでも、刺激的な一冊です。

図書館員が選んだこの2冊

『満州航空の全貌—1932~1945:大陸を翔けた双貌の翼』

前間 孝則 著

[草志社・2,730円(税込)](2013年5月 発売) ISBN:9784794219770

最新鋭機を擁し、軍と民の二つの貌を持つ、世界に類例のない航空会社。謎に満ちたその実態が初めて明かされる!一九三一年、満州国建国にともなって創設された「満州航空株式会社」。総延長航路二万三千キロ、民間輸送のみならず測量や航空機製造など広範に行う一方、「軍」の任務も遂行するというもう一つの貌をもち、「ヒツジの皮をかぶったオオカミ」と呼ぶものもある。中国大陸で多岐にわたる活動を行ったにもかかわらず、一九四五年の敗戦時に資料のほとんどが処分されたため、今日に至るまでその実態は明らかになっていない。本書は航空技術に詳しい著者が数年の歳月をかけて生存する関係者への取材を重ね、断片的な資料をたねねんに読み込んで、初めてその全貌を描きだした渾身のノンフィクション作品である。



『地図をつくった男たち—明治の地図の物語』

山岡 幸治 著

[原書房・2,520円(税込)](2012年12月 発売) ISBN:9784562048700

明治日本、地図誕生の記録。明治維新の後、もっとも基本的な情報基盤である地図情報の脆弱さに直面した明治政府は、国家の急務として「地図づくり」に取り組む。伊能忠敬以降、維新前夜から明治時代の陸軍参謀本部陸地測量部(国土地理院の前身)の地図測量本格化まで、近代地図作成に心血を注いだ技術者たちの歴史を描いた、「知られざる地図の物語」。

(引用:紀伊國屋書店BookWeb)

平成25年度

予算の概要

平成25年度予算は、高千穂学園第6期中期経営重点目標・計画の実現に向け策定致しましたが、大学の新入生数が当初予算の想定人数に達しなかったことと、25年度に予算化されていた機器取得のうち24年度中に前倒しで取得したものがあることにより、予算の補正を行いました。以下では、補正後の予算について説明します。

教育面では、本学の建学理念および教育理念・教育目標の下、社会の要請に応えられうる学生質保証を中心とする学生育成を実現すべくより一層の教育改革に取り組むことをめざした予算と致しました。

財政面では、従来の方針通り人件費比率を50%未満とすることおよび帰属収支差額比率が10%を超えることを目標に編成致しましたが、25年度の新入生数から見て、人件費比率の目標を達成するためには、退学者数を減らす等の帰属収入を増加させる努力が必要となっています。

■ 平成25年度予算の概要

まず、学校法人の経営状態を把握するために、企業会計での損益計算書にほぼ相当する消費収支予算書を中心に24年度予算と比較しながら解説します。

25年度の帰属収入は、学生数減となる見積もりにより納付金収入が大きく減少することや補助金制度の変更による減額等により、24年度より213百万円程度減少する予算となっています。一方、消費支出は、人件費が教職員の年齢構成の変化や役員報酬の見直しによる減少を見込み、経費は24年度とほぼ同額の予算となり、結果的に55百万円の減となる見込みです。基本金組入額は2号館の空調設備更新、図書館の入館ゲートの更新、情報機器の更新、登戸グラウンドや幼稚園舎の取得のための借入金返済、将来の土地・建物の取得に備えた積立金、奨学金の原資となる積立金等を組入れますが、昨年より1億3百万円の減少となります。この結果、6千万円の消費支出超過予算となりました。

(1) 収入の部

- ① 帰属収入は26億33百万円と、24年度予算より213百万円減少しました。
- ② 学生生徒納付金は、学部学生数の減少により24年度予算に対して173百万円減の21億57百万円となりました。
- ③ 補助金は18百万円減の248百万円、雑収入は22百万円減の9千万円となる見込みです。

(2) 支出の部

- ① 人件費は13億73百万円と、58百万円の減となりました。
- ② 教育研究経費は8億5百万円と、24年度より4百万円の減少となりました。
- 管理経費は2億円と、24年度より7百万円の増加となりました。

③ 学園の教育・研究水準の維持・向上のために組み入れる基本金組入額は、2億81百万円と1億3百万円の減少となりました。固定資産の取得額である第1号基本金組入額は、2号館の空調機更新に41百万円、図書の取得に25百万円、登戸総合グラウンドや幼稚園舎取得のための借入金の返済分64百万円等を組み入れ、耐用年数が経過した機器備品を除却し、差引で1億11百万円です。将来の固定資産の取得に備えた第2号基本金は、大学の土地取得や校舎改築に備えて計画通り1億50百万円を組入れます。奨学金の原資となる高千穂育英基金にあてる第3号基本金には、計画通り20百万円を組入れます。

1ヶ月分の支払資金に相当する第4号基本金は、すでに必要な額を組込み済のため、25年度の組入れはありません。

次に、その年度の諸活動に対応するすべての収入および支出の内容と支払資金の収入および支出のてん末を明らかにするという点で、企業会計のキャッシュフロー計算書と同じ目的をもった資金収支予算書について見てみます。

資金収入は26年度分の納付金の25年度中受入額である前受金収入10億95百万円および24年度からの繰越支払資金52億24百万円を含んで83億25百万円となります。25年度の諸活動に対応する収入と支出が生じた結果、25年度末の26年度への繰越支払資金は48億67百万円となる見込みです。

■ 平成25年度事業計画

大学関係

1. 学部教育の充実

- (1) 新カリキュラムの策定
必要性の検証をした上で平成27年度に向け新カリキュラムの策定を検討します。
- (2) 履修・成績管理システムの運用
引き続きWEB履修・出席管理システムの利便性向上に努め、T-Naviの利用状況についてアンケートを実施します。
- (3) 初年次（導入）教育
新入生のオリエンテーション、ゼミⅠ教育プログラムを継続実施し学習意欲の高揚を図ります。
- (4) 教育力向上への取組み
FD研修会、全科目を対象とする授業評価アンケートを予定しています。
- (5) 「学士力」の向上
高千穂マスタープラン（大学生生活の年間計画、修学モデル）を理解することにより4年間の大学生活をイメージさせて、学生本人が学生生活目標管理シートを作成することにより学習目標を明確にしていきます。
- (6) 学生指導
ゼミ教員を中心に、成績・出席不良者に対する指導・助

言の徹底やアドバイザー制の活用を強化します。

(7)起業・事業経営(承継)コース

起業・事業経営(承継)コースでは、経営特別講座、会計特別講座、ビジネスゲーム、企業実地研修等を充実させていきます。

(8)国際交流・研修

米国オレゴン大学における3カ月間の研修を含む1年間のプログラムで、学部公式なカリキュラムであるIBCS(国際ビジネスコミュニケーション・セミナー)に研修生を派遣します。これは、語学だけではなくビジネス専門知識に関する科目も開講され、コミュニケーション能力を含め総合的な学習ができるプログラムです。また、短期研修生として、台湾・東呉大学や新たに中国・上海師範大学へも学生を派遣する予算措置を取りました。海外研修30周年記念行事も予定しています。

2.大学院教育の充実

- ①授業評価アンケートを実施し、大学院教育の質の向上を図ります。
- ②論文指導、学会参加、リサーチペーパー等研究発表の機会を補助します。

3.情報機器の充実

情報関連科目の履修者の増加や、情報関連科目以外でのパソコンの利用増大に対応します。

4.図書館

- ①図書館入館ゲートの更新を行います。
- ②大学院や人間科学部の専門図書の拡充を図ります。
- ③貴重図書の脱酸性化や除湿器設置により、図書資料の保存環境を改善します。

5.就職活動支援

①キャリア教育の充実

資格取得によるキャリア形成支援とスキルアップを目的として「会計」、「ビジネス」、「情報」、「語学」、「教職」、「公務員」、「社会・労働保険」、「保育士」、「基礎学力」の9分野の講座を開設します。

- ②就職支援システム「求人Navi」により求人情報の検索、就職行事の確認、就活状況の把握等を行っていきます。

6.奨学金制度

成績優秀者や経済的困窮者を支援する奨学金制度を運用していきます。

7.研究活動

総合研究所では、学園創立110周年記念シンポジウムを予定しています。アジア研究交流センターでは、中国人事科学研究院・中央財経大学との共同研究を継続して進めています。

8.施設設備の整備

新1号館・7号館・8号館の設計を行い、来年度からの建設着手を目指します。

2号館の空調機の改修を行い、学習環境を整備します。

10号館の外壁を補修し、落剥等の危険を防止します。

9.入学志願者の確保

18歳人口が減少し、大学全入時代を迎え志願者と入学者の確保は最重要課題となっています。

理事会、教職員一丸となって、この最重要課題に取り組んでいきます。

■平成25年度 資金収支予算書(要約)

(単位:千円)

支出の部				収入の部			
科 目	金 額			科 目	金 額		
	平成25年度	平成24年度	増減		平成25年度	平成24年度	増減
人件費支出	1,383,532	1,431,085	△ 47,553	学生生徒等納付金収入	2,156,902	2,330,228	△ 173,326
教育研究経費支出	543,085	545,499	△ 2,414	手数料収入	35,763	35,678	85
管理経費支出	176,336	171,478	4,858	寄付金収入	4,602	4,088	514
借入金等利息支出	2,147	2,820	△ 673	補助金収入	248,269	266,200	△ 17,931
借入金等返済支出	64,440	64,440	0	資産運用収入	96,551	96,890	△ 339
施設関係支出	136,021	87,666	48,355	資産売却収入	1,220	0	1,220
設備関係支出	46,002	104,088	△ 58,086	雑収入	89,683	111,828	△ 22,145
資産運用支出	1,118,380	620,000	498,380	前受金収入	1,095,240	1,202,785	△ 107,545
その他の支出	58,541	76,984	△ 18,443	その他の収入	593,709	199,042	394,667
[予備費]	50,000	50,000	0	資金収入調整勘定	△ 1,220,995	△ 1,245,049	24,054
資金支出調整勘定	△ 100,450	△ 102,354	1,904	前年度繰越支払資金	5,223,879	5,291,101	△ 67,222
次年度繰越支払資金	4,846,789	5,241,085	△ 394,296				
支出の部合計	8,324,823	8,292,791	32,032	収入の部合計	8,324,823	8,292,791	32,032

■平成25年度 消費収支予算書(要約)

(単位:千円)

消費支出の部				消費収入の部			
科 目	金 額			科 目	金 額		
	平成25年度	平成24年度	増減		平成25年度	平成24年度	増減
人件費	1,372,984	1,430,694	△ 57,710	学生生徒等納付金	2,156,902	2,330,228	△ 173,326
教育研究経費	804,890	808,679	△ 3,789	手数料	35,763	35,678	85
管理経費	199,531	192,298	7,233	寄付金	5,102	4,588	514
借入金等利息	2,147	2,820	△ 673	補助金	248,269	266,200	△ 17,931
資産処分差額	2,000	2,000	0	資産運用収入	96,551	96,890	△ 339
[予備費]	30,000	30,000	0	資産売却差額	610	0	610
消費支出の部合計	2,411,552	2,466,491	△ 54,939	雑収入	89,683	111,828	△ 22,145
当年度消費収支差額	△ 60,145	△ 5,678		帰属収入合計	2,632,880	2,845,412	△ 212,532
翌年度繰越消費収支差額	1,689,919	1,357,606		基本金組入額	△ 281,473	△ 384,599	103,126
				消費収入の部合計	2,351,407	2,460,813	△ 109,406

平成24年度

決算の概要

■ 経営状態

企業会計の損益計算書に相当する消費収支計算書（別表2）で、平成24年度と平成23年度を比較しながら、本学の経営状態を説明します。

収入のうち、学生生徒等納付金は、156,823千円減の2,272百万円となりました。学部学生数の減少により減収となりました。

手数料は721千円増の37百万円となりました。主として補習・再試験制度の設置によるものです。

寄付金収入は、従来の父母の会や新日本スーパーマーケット協会等からの寄付により9百万円となりました。

補助金収入は、私立大学等経常費補助金が制度の変更や昨年度の東日本大震災関係の補助が本年度は無かったことにより20百万円減少し196百万円となり、その他、私立学校施設整備費補助金10百万円、経済産業省の節電支援補助金6百万円、東京都の防災用品整備助成金3百万円等の交付があり、補助金全体として30,117千円減の249百万円となりました。

資産運用収入は、運用環境の厳しいなかでも円安による為替連動利金の増大により、ほぼ横ばいの98百万円でした。

雑収入は、大学の課外講座や幼稚園の未就園幼児教室の増収により、7,366千円増の127百万円となりました。

以上述べてきた収入の合計である帰属収入（学校法人の負債にならない収入で、企業会計の収益に相当）は、177,640千円減の2,729百万円となりました。

学校法人が教育・研究水準を維持・向上していくために必要な資金として帰属収入の中から組み入れた基本金の額は106,142千円減の280百万円でした。

登戸グラウンド・幼稚園舎の取得のための借入金の返済分や、建物・備品・図書等の取得額、将来の校地・校舎の取得に備えての計画的な特定資産への組入、奨学金の原資となる育英基金への組入れ等が主なものです。

帰属収入から基本金組入額を差し引いた消費収入は、71,498千円減の2,511百万円でした。

支出のうち、人件費支出は、定期昇給等により5,496千円増の1,434百万円となりました。

教育研究経費は、光熱水費や減価償却額の増大はあったものの節減に努め、ほぼ前年度と同額の739百万円でした。

管理経費は、修繕費や減価償却額が増加し、5,953千円増の205百万円となりました。

借入金等利息は、幼稚園舎新築と登戸総合グラウンド取得のための借入金の利息を計画通り支払ったものです。

保有していた東京電力社債5億円を、同社の福島第一原発事故による経営悪化により売却し、52百万円の処分差額が発生しました。

これらの支出の計である消費支出（企業会計の費用に相当）は、63,644千円増の2,436百万円でした。

消費収入から消費支出を差し引いた消費収支差額は、75百万円の収入超過（黒字）となりました。

$\{(\text{帰属収入} - \text{消費支出}) / \text{帰属収入}\}$ で表される帰属収支差額比率は、高いほど教育・研究の充実に振り向ける資金的余裕があり経営的に安定しているとされますが、23年度の本学と同規模の私大の平均が1.9%であったのに対し本学の24年度の比率は12.7%となり、安定した経営状態であることを示しています。

■ 財政状態

学園の財政状態を、貸借対照表（別表3）を基に説明していきます。

校地・校舎・機器備品・図書等の有形固定資産は、6,843百万円でした。大きな工事等が無かった一方で、減価償却を進めたため、104,138千円減少しました。

将来の土地・建物・機器備品の取得に備えた特定資産を計画通りに繰入れて、その他の固定資産は398,093千円増の6,339百万円となりました。

現金・預金や有価証券等の流動資産は、5,429百万円でした。

負債は、幼稚園舎新築と登戸総合グラウンド購入のための借入金の残高198百万円、25年度の納付金収入となる前受金が1,008百万円、退職金の支払に備えた退職給与引当金が633百万円等となっています。退職給与引当金は、必要額の100%が計上されています。負債の総額は145,857千円減の1,958百万円となりました。

基本金は、自己資金で取得した校地・校舎・機器備品・図書等

の取得額である第1号基本金が11,356百万円、将来の校地・校舎取得等に備えた資金である第2号基本金が2,630百万円、育英基金の原資となる第3号基本金が721百万円、1ヶ月分の運転資金に相当する第4号基本金が196百万円の計14,903百万円となりました。

25年度に繰越す消費収入超過額の累計額は、1,750百万円と

なりました。

以上見てきたとおり、経費の節減等により、平成24年度は収入超過の決算となりました。しかしながら、18歳人口の減少や資産運用益が見込みにくい等の、学園経営にとって厳しい環境が見込まれますので、より一層の経営努力をしていきます。

■資金収支計算書（別表1）

（単位：千円）

支出の部				収入の部			
科 目	金 額			科 目	金 額		
	平成24年度	平成23年度	増減		平成24年度	平成23年度	増減
人件費支出	1,434,579	1,442,319	△ 7,740	学生生徒等納付金収入	2,271,927	2,428,750	△ 156,823
教育研究経費支出	478,420	493,339	△ 14,919	手数料収入	37,369	36,648	721
管理経費支出	179,371	178,832	539	寄付金収入	6,893	6,047	846
借入金等利息支出	2,820	3,633	△ 813	補助金収入	248,857	278,974	△ 30,117
借入金等返済支出	64,440	64,440	0	資産運用収入	97,781	98,233	△ 452
施設関係支出	58,581	110,303	△ 51,722	資産売却収入	722,622	754,705	△ 32,083
設備関係支出	123,091	151,509	△ 28,418	雑収入	127,065	119,698	7,367
資産運用支出	1,645,188	1,754,659	△ 109,471	前受金収入	1,007,799	1,066,336	△ 58,537
その他の支出	73,048	88,332	△ 15,284	その他の収入	601,951	1,222,719	△ 620,768
資金支出調整勘定	△ 49,737	△ 64,507	14,770	資金収入調整勘定	△ 1,179,685	△ 1,264,718	85,033
次年度繰越支払資金	5,223,879	5,291,101	△ 67,222	前年度繰越支払資金	5,291,101	4,766,568	524,533
支出の部合計	9,233,680	9,513,960	△ 280,280	収入の部合計	9,233,680	9,513,960	△ 280,280

■消費収支計算書（別表2）

（単位：千円）

消費支出の部				消費収入の部			
科 目	金 額			科 目	金 額		
	平成24年度	平成23年度	増減		平成24年度	平成23年度	増減
人件費	1,434,044	1,428,548	5,496	学生生徒等納付金	2,271,927	2,428,750	△ 156,823
教育研究経費	739,294	739,074	220	手数料	37,369	36,648	721
管理経費	204,834	198,881	5,953	寄付金	8,610	6,945	1,665
借入金等利息	2,820	3,633	△ 813	補助金	248,857	278,974	△ 30,117
資産処分差額	54,538	1,970	52,568	資産運用収入	97,781	98,233	△ 452
徴収不能額	685	465	220	雑収入	127,064	119,698	7,366
消費支出の部合計	2,436,215	2,372,571	63,644	帰属収入合計	2,791,608	2,969,248	△ 177,640
当年度消費収支差額	74,971	210,113	△ 135,142	基本金組入額	△ 280,422	△ 386,564	△ 106,142
翌年度繰越消費収支差額	1,750,064	1,675,093	74,971	消費収入の部合計	2,511,186	2,582,684	△ 71,498

■貸借対照表（別表3）

（単位：千円）

資産の部				負債・基本金・消費収支差額の部			
科 目	金 額			科 目	金 額		
	平成24年度	平成23年度	増減		平成24年度	平成23年度	増減
固定資産	13,182,469	12,888,514	293,955	固定負債	766,557	839,163	△ 72,606
有形固定資産	6,843,486	6,947,624	△ 104,138	長期借入金	133,320	197,760	△ 64,440
土地	1,155,093	1,155,093	0	退職給与引当金	633,237	633,773	△ 536
建物	3,929,509	4,072,321	△ 142,812	その他	0	7,630	△ 7,630
機器備品	321,541	325,894	△ 4,353	流動負債	1,191,015	1,264,266	△ 73,251
図書	1,320,331	1,302,448	17,883	短期借入金	64,440	64,440	0
その他	117,012	91,868	25,144	前受金	1,007,799	1,067,694	△ 59,895
その他の固定資産	6,338,983	5,940,890	398,093	その他	118,776	132,132	△ 13,356
施設関係引当特定資産	4,930,440	4,530,440	400,000	負債の部合計	1,957,572	2,103,429	△ 145,857
育英基金引当資産	720,850	698,228	22,622	基本金	14,903,347	14,622,925	280,422
退職給与引当特定資産	632,780	655,780	△ 23,000	第1号基本金	11,356,051	11,248,251	107,800
その他	54,913	56,442	△ 1,529	第2号基本金	2,630,446	2,480,446	150,000
流動資産	5,428,514	5,512,933	△ 84,419	第3号基本金	720,850	698,228	22,622
現金預金	5,223,879	5,291,101	△ 67,222	第4号基本金	196,000	196,000	0
有価証券	76,104	77,252	△ 1,148	翌年度繰越消費収支差額	1,750,064	1,675,093	74,971
その他	128,531	144,580	△ 16,049	合 計	18,610,983	18,401,447	209,536
合 計	18,610,983	18,401,447	209,536				

同窓会は在学生へ支援を行っております

同窓会事務局

同窓会は、会員相互の親睦を図ること、母校の発展を支援していくことを目的として活動を行っております。

在学生の皆さんは大学に在学中は準会員で、卒業すると同窓会正会員となります。会費は、在学中に授業料と一緒に卒業後25年間分を納めていただいております。

同窓会は、親睦を図る目的では毎年5月に総会・懇親会、暮れは評議員会・忘年懇親会を、また、全国28地区の支部会が総会・懇親会を開催しております。

広報関係では、機関誌である同窓会会報「タカチホ」を年2回発行、卒業生へ大学の近況や各支部会の活動報告などの情報を提供しております。

本号で、同窓会が現在行っている主な在学生支援と地区高千穂会総会・懇親会の開催状況についてご案内いたします。

1. 高千穂学園同窓会奨学金

在学生で学業成績が上位で人物優良な学生に対し学業を支援する目的で一人当たり5万円の奨学金を授与いたします。

平成25年度は22名(商学部10名、経営学部10名、人間科学部2名)を表彰しました。これまでに76名を表彰。条件は、大学の奨学金制度の「学業成績優秀者奨学金制度」及び「小池厚之助賞」を、在学中2回以上授与されたものに対して、4年次に表彰を行っております。



同窓会奨学金受領者

2. 学友会主催行事や諸活動への支援

学友会優秀団体への支援活動を行っております。この支援は、クラブやゼミナールの活動に対して毎年5月に開催する同窓会総会・懇親会と12月の同窓会評議員会・忘年懇親会の席で行っております。

表彰クラブ・ゼミは、昨年の12月は、映画研究会、松

崎第一ゼミ、小林ゼミを、今年度の5月は、硬式野球部、アメリカンフットボール部、和弓部を表彰し、活動奨励金としてそれぞれ5万円支給しています。

3. 資格取得講座への支援

今年度、新たに社会に出て役に立つ資格取得を目的に、課外授業の一環で設けられた「日本漢字能力検定2級」講座で、専門の外部講師による開講に伴う経費を全面支援いたします。

受講者は130名を越える申込があり、4月～6月までに延べ、14回開講いたしました。



漢検講座風景

4. そのほかの支援

毎年6月第一土曜日に登戸グランドで開催される学友会体育会主催の体育祭参加者に対して弁当と飲物の支援などを行っております。

5. 各地区高千穂会総会・懇親会開催日程

今年度の6月現在の日程です。関心のある方は10号館2階の同窓会事務局へお問い合わせください。

月	日	曜	地区高千穂会名	開催都市・会場
6	8	土	福島県いわき分会	いわき市「いわきフシントンホテル 椿山荘」
7	6	土	北海道	札幌市「炭焼炉ばたくし路」
7	6	土	福島県中通り分会	郡山市「ビューホテル アネックス」
7	6	土	香川県	高松市「讃岐海鮮料理 いけす道楽」
7	27	土	青森県	青森市内(会場は未定)
8	24	土	福島県会津分会	会津若松市「センチュリーホテル」
8	31	土	秋田県	秋田市「秋田メトロポリタンホテル」
9	7	土	神奈川県	横浜市「東天紅横浜桜木町フシントンホテル店」
9	7	土	東海(三重・愛知・岐阜県)	名古屋市「はなの舞名古屋西店」
10	5	土	埼玉県	さいたま市「ラフォーレ 清水園」
10	26	土	群馬県	高崎市「高崎フシントンホテルプラザ」

平成25年6月26日現在

父母の会

埼玉県支部 郷土企画「ねぎみそ煎餅」を配布して

役員 前花 明美

5月15日、さいたま市の銘菓で全国的?にも有名になりつつある「ねぎみそ煎餅」を今回配布しました。大量に購入できたこともあり、ねぎみそ他に6種の味を用意し、その中から1枚を選んでもらい、1人2枚の出血大サービス。支部の役員として参加しつつも、学生に接するのは郷土企画が唯一なので、どういう反応なのか不安もありつつ楽しみにしていました。

始め数人だった食堂が、2限が終わると、たちまち学生達であふれ、それと共に煎餅もあっという間になくなっていきます。「お昼買わないともらえないんですか?」「僕、埼玉ですけど初めて食べます。」と声をかけてくれる学生。6種の中から迷いながら選んでいく学生。意外と皆、控えめに持っていくのにびっくりでした。

今回4年のわが子は就活中で、この場にはいませんでしたが、学生達を見ていて、毎回この企画にお世話になっていたのだなと思い、毎年、学生達が喜びそうなものを探し出し、手配される各支部の役員の方々のご苦労、そして大学のスタッフの皆様感謝いたします。



ねぎみそ煎餅(埼玉県支部)

●父母の会 春学期実施 郷土企画

開催日	主催支部	郷土企画
4月25日	栃木県支部	とちおとめクリーム大福
5月15日	埼玉県支部	ねぎみそ煎餅
5月24日	近畿・四国・中国ブロック支部	もみじ饅頭
6月6日	茨城県支部	納豆・サラダバー
6月28日	九州ブロック支部	パイナップルスティック
7月4日	北海道・東北ブロック支部	笹かまぼこ
7月12日	千葉県支部	びわゼリー

鎌倉はとさぶれ、甲州ぶどう、新潟米、静岡みかんや東京プリンなど、秋学期もお楽しみに！



とちおとめクリーム大福(栃木県支部)



もみじ饅頭(近畿・四国・中国ブロック支部)



パイナップルスティック(九州ブロック支部)



納豆・サラダバー(茨城県支部)

5月21日 平成25年度大学説明会を開催

5月21日(火)12時30分から平成25年度大学説明会を開催いたしました。
 中間試験等の校務ご多忙の中、ご参加いただきました先生方に厚く御礼申し上げます。
 説明会は、並木学長の挨拶に始まり、1年次から4年次までのゼミナール教育を基本とした、アドバイザー制度による一人ひとりの学生との面談をとおり、大学生活への転換から最終的に就職するまでサポートをする本学の「少人数による実学教育」と「就職支援システム」、そして、最も重要な平成26年度入試制度の変更点等を解説いたしました。



5月21日 高千穂大学内が Google マップのストリートビューで公開

5月21日(火)より、高千穂大学のキャンパス内がGoogle マップのストリートビューで公開されました。ストリートビューでは正門から西門、そして武道場の前まで撮影されており、web上で学内を歩いているような気分を味わうことができます。本学のホームページからぜひご覧ください。



5月27日 創立 110 周年を迎えた高千穂学園は、新校舎建設の案内を発表。

平成27年4月に新1号館、平成29年4月に新体育館・7号館が完成する予定となる。主に、新1号館では、アカデミック・ファシリティーとして、大・中・小教室によるゼミナール、課外授業、公開講座、総合学習などが行われる。また、新体育館・7号館では、体育館、各種実習教室(家庭科実習室、音楽実習室、理科実習室)や防音設備のあるスタジオ、売店、保健室などが備わる。



新1号館(完成予想図)



新体育館・7号館(完成予想図)

6月15日 剣道部の吉新 敏英さんが第101回東都学生剣道大会男子個人戦にて準優勝

6月15日(土)に行われた第101回東都学生剣道大会にて剣道部の吉新 敏英さん(経営学部3年 降旗ゼミ 千葉県私立市原中央高等学校出身)が男子個人戦にて準優勝となりました。4回勝ち上がった決勝戦では城西大学の選手に僅差で敗れてしまいました。準決勝が延長戦となるハードな試合だったため、終了後には過呼吸になってしまったようで「悔しかったです、そんな中、決勝戦ではよくやれたと思います。」と話してくれました。



6月15・16日 和弓部女子が第43回全関東学生弓道選手権大会3位入賞

6月15・16日に行われた、第43回全関東学生弓道選手権大会にて和弓部女子が3位入賞となりました。準決勝で惜しくも明治大学に敗れるも、3位決定戦で筑波大学に勝利しました。4年生の兼城さんは「もっと上を狙えたと思いました。残念です。」と3位でも悔しかった思いを話してくれました。写真左から、兼城 和香(商学部4年 渡辺ゼミ 東京都立第一商業高等学校出身)、村上 詩緒理(商学部2年 楠美ゼミ 東京都私立成立学園高等学校出身)、玉木 絢華(人間科学部2年 松丸修三ゼミ 埼玉県川口市立川口総合高等学校出身)、黒田 彩香(商学部4年 渡辺ゼミ 東京都立第一商業高等学校出身)。



平成 25 年度秋学期『総合科目 B』の日程が決まりました。

『総合科目B』は女性の起業家やトップランナーとして活躍している方々を招聘し、講義を行うことになりました。

第一線で活躍している女性から学べる貴重な内容となっています。

お問い合わせは、学務部教務課(03-3313-0146)まで。詳しくはWebサイトにて。

●テーマ：『女性リーダーたちに学ぶ』 ●教室：セントラルスクエア2階 ●タカチホホール 担当教員：川名 和美 教授

月 日	内 容	講 師 名	会社名・役職等
9月 24日	(学生のみ)ガイダンス	川名 和美	本学経営学部 教授
10月 1日	自分らしい働き方のヒントを探そう	堤 香苗	(株)キャリア・ママ 代表取締役
10月 8日	杉並らしい協働とNPO支援 ーシニアと子育て支援の課題解決で地域活性化！ー	紙谷 清子	杉並NPO支援ネットワーク推進協議会 会長
10月 15日	子ども達のためのキャリア教育	朝山あつこ	認定NPO法人キーパーソン21 代表理事
10月 22日	地域を愛する女性起業家の経営戦略	多田多延子	(株)ティーエスピー 代表取締役
10月 29日	アジアの女性の夢をかなえる！ ドリーム・ガールズ・プロジェクト！	温井和佳奈	(株)ブルーミング・ライフ 代表取締役
11月 5日	(学生のみ)ゼミ発表会聴講		
11月 12日	アイデア起業・乗り換えマップから情報ビジネスへ	福井 泰代	(株)ナビット 代表取締役
11月 19日	デジタル家電と女性をつなぐ	戸田江里子	(株)ハッピーコム 代表取締役
11月 26日	夫婦で起業にチャレンジ！ 子ども達の未来のために	小島 佳苗	(株)トラストボールアプリシエイト 代表取締役
12月 3日	女性起業家とベンチャー企業の今	田村真理子	日本ベンチャー学会 事務局長
12月 10日	製造業が日本を変える！	徳本 真弓	モノ・マガジン編集部
12月 17日	働く女性の未来を考える	大石 友子	京都学園大学 経営学部教授
12月 24日	(学生のみ)秋学期のふりかえり	川名 和美	本学経営学部 教授

※内容・講師は変更する場合があります。



メールシステムが変更になりました！ 携帯電話やスマートフォンへの転送設定を行ってください。

本学のメールシステムは、平成 25 年 6 月 4 日に Active!mail から Gmail に変更になりました。

● T-Navi のお知らせや休講情報は Gmail に送信されます。

● Gmail のログインパスワードは、「TAKACHIHONET 利用許可証」に記載されているメールパスワードです。

紛失等で「TAKACHIHONET 利用許可証」を所持していない方は、情報メディアセンター事務室で再発行手続きを行ってください。

Gmail の詳細や利用方法については、情報メディアセンターのホームページをご覧ください。

編集後記

Quarterly高千穂Vol.43夏号をお届けします。7月後半の定期試験期間を終えると学生のみなさんは夏休みですね。今回の特集は「高千穂生の夏休み」ということで、学生の皆さんの夏休みの過ごし方を多くの皆様に見ていただきたく企画いたしました。頑張っている学生がたくさんいますので、ぜひ応援してあげてください。また学生の皆さんは今回掲載された記事以上に今年の夏休みを充実させたものにしてほしいと思います。夏休みというのはいつも終わってみれば早いものです。みんなで協力して目標を達成する。自分磨きをする。人のために役立つことをする。何でもいいので忙しい夏休みを過ごしてください！

夏休みが過ぎ、秋になると高千穂祭とゼミナール発表会の時期になります。こちらは次号にて詳しく掲載する予定ですので楽しみに！高千穂祭実行委員会、ゼミナール連合、参加学生の皆さんも夏休みは準備などに大忙しのことと思いますが、協力して1つのことを成し遂げる経験はきっと将来の糧になることでしょう！がんばってください!! (今回の撮影にご協力いただいた皆さん、ありがとうございました)

編集委員
入試広報部広報課
浅見 雅郁
坂田 利康
西原 正人





「大学基準に適合」の認定マーク

喫煙に関するルールについて

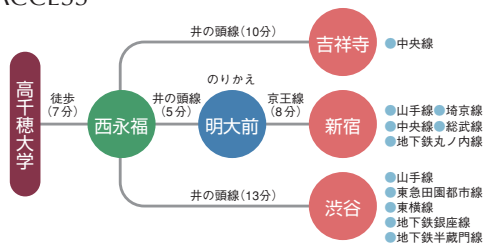
本学キャンパスのある杉並区は、条例により区内全域で、歩きたばこや吸い殻のポイ捨てを禁止（一部の路上禁煙地区では条例違反者から過料を徴収）しています。

本学においても、構内の指定された場所以外での喫煙は禁
 止とし、また、通学路等での喫煙についても歩きたばこや吸
 い殻のポイ捨てについては厳重に注意を与えています。

しかし、いまだにルールを守らない喫煙者が多く見受けられ、非喫煙者のみならず近隣住民の方々、ルールを守って喫煙している人にも多大な迷惑を掛けることとなっています。

高千穂大学の学生として、節度ある行動をとり喫煙マナーの向上を心がけてください。

ACCESS



- 山手線・新宿駅または渋谷駅から西永福駅（井の頭線）まで 14 分
（新宿駅からの場合は、明大前のりかえ）
- 中央線・吉祥寺駅から西永福駅（井の頭線）まで 11 分
- 西永福駅北口から本学まで徒歩 7 分

CAMPUS MAP



 somu@takachiho.ac.jp

Quarterly 高千穂 Vol.43

Quarterly高千穂 第43号

発行責任者： 浅見 雅郁 発行：高千穂大学

〒168-8508 東京都杉並区大宮2-19-1 TEL 03-3313-0141

発行日：平成25年7月10日 無断転載・複製不可

